

令和 6 年度学校関係者評価報告書

令和 6 年度学校自己評価に基づく学校関係者評価委員会(運営委員会)を実施した結果を報告いたします。

令和 7 年 6 月 5 日
高松市医師会看護専門学校
学校評価委員会(運営委員会)

1. 学校関係者評価の目的

看護師等養成所として教育水準の維持・向上および学校運営の活性化を図るため、本校全般の運営について、教職員自らが自己点検・自己評価を行い、学校関係者から、助言を得ることで、学校運営の継続的な改善につなげることを目的とする。

2. 出席者

委員長 伊藤 輝一

委員 和田 大助 吉澤 潔 川原 孝文 溝口 晶仁 合田 吉徳

大森 浩二 沼本 篤男

学校関係者 松岡 信夫 小島 章裕 太田 憲吾 藤澤 綾 水谷 真梨子

網本 哲郎 美濃 久美子 吉川 祐子 松下 恭子

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和 7 年 4 月 17 日 木曜日 18:45～19:35

4. 自己評価結果の説明・報告

- (1) 令和 6 年度の在校生の動向、看護科・准看護科両課程の資格取得実績、進路状況、令和 7 年度の入学者の状況等を報告。
- (2) 学校評価報告書に沿って、「教育理念」「教育目的」「令和 6 年度の教育目標と計画」について説明。
- (3) 項目別自己評価結果、目標達成状況、今後の改善方法について報告
- (4) 令和 7 年度の教育目標と計画について報告

5. 意見交換、質疑応答

- (1) 学生募集及び入学者の減少について

学生募集については、従来の募集活動を継続しつつ新たに准看護科の卒業生に入学案内の送付を行ったりしたが、少子化や大学志向者の増加、働きながら学ぶ学生の減少等により、入学者の増加に繋がっていない。准看護科の入学者の減少に

に伴い、看護科への進学者が減少している。准看護科の入学者の増加の為に、推薦入試受験料を減額する。施設の職員の推薦枠をつくる。進学ガイダンス等への参加、他群市医師会立准看護学院と合同で募集ポスター等を作成し協力していく等の意見があり、検討した結果、准看護科の推薦受験者の受験料の減額が承認となった。その他の意見に関しても、今後検討しながらすすめていくと説明がなされた。

(2) 講師等について

講師不足の状況ではあるが、現在は医師会の協力の下、何とか講師の確保が出来ている。他群市医師会立准看護学院でも講師及び専任教員の確保が厳しい状況と言われている。令和8年度に准看護科の教科書が1本化することもあり、今後は、県下の医師会立准看護学院で協力し、ビデオ授業や遠隔授業等も検討していく事を考えているとの説明がなされた。

本日は貴重なご意見を賜りまして、ありがとうございました。今後も皆様のご期待に添えますよう、職員一同一生懸命看護学校の運営にあたりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。